

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小値賀町	代表者名	西村 久之
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0959-56-3111
担当者役職	班長	担当者氏名	深海 佳介
		連絡先E-mail	*****
住所	8574701 長崎県小値賀町笛吹郷2376番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は事前打ち合わせをさせていただきました。打ち合わせの中でふとした気づきを引き出しただけのような話の流れもあり、具体的にどういったことに取り組みたいか協議がスムーズでした。
アドバイザーへの要望事項	引き続き支援をいただき、現地での講師をお願いしたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月6日	事前打合せ（オンライン）	有	令和5年9月5日	901
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月12日	事前打合せ（オンライン）	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員等	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本町は高齢化率が県内で最も高い自治体であり、住民への情報伝達には回覧板・防災行政無線・LINE等を活用しているが、質の向上を図るため、オープンデータを用いてデジタルデバインド対策に役立てたいニーズがあるが案が思いつかない。原課で仕事を楽にしたい機運が高まっているが、オープンデータが全体最適化に貢献できることの認識がなされていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	オープンデータを用いてデジタルデバインド対策に役立つ案を思いつく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	どのようなデジタルデバインド対策があるか教えていただき、オープンデータ公開と相性の良い事柄の考察他	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	まだ解決はできていない。全く思いつかない状態だったが、考えやすくなった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的なアイデアにつなげれる事例や考え方の詳細を学ぶことについては次回の支援へ持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 セミナーは9/25実施予定のためアンケート未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	デジタルデバインド対策とオープンデータ公開を紐づけ好循環を促す。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

